

◆私は、稲作農家の三代目です。昨年は、50作目の稲と麦でした。

30年以上前から、農薬や化学肥料を使わない米づくりに取り組んでおります。さまざまな生きものが暮らす田んぼで、うるち米・もち米・黒米・赤米など10種類以上のお米をつくっています。

いろんな稲の種をブレンドして一緒に田んぼで育てております。稲がそれぞれ助け合っておりまして。できたお米は、『いろいろ米』として皆さんに届けております。

自然の声に耳を傾けて稲を育てるのは大変だけれども、とても面白い。野良仕事を通して今と昔を對比し、季節の移ろいを感じています。しかし、近年、生きものとの接点が少なくなっているのを感じています。

ご意見・ご感想をお寄せください

『AFCフォーラム』は農林漁業者、食品事業者の皆さまに役立つ誌面づくりをめざしています。参考になった記事、取り上げてほしい企画、お気付きの点など、メール、FAX、電話、郵送で編集部までお寄せください。掲載させていただいた方には薄謝を呈します。

メール anjoho@jfc.go.jp

※こちらのコードもお使いください



FAX 03-3270-2350

電話 03-3270-2268

郵送 〒100-0004

東京都千代田区大手町1-9-4

日本公庫農林水産事業本部情報企画部

AFCフォーラム編集部あて

春の代かぎのときには、餌をついばむサギやカモの姿があったもの

ですが、ずいぶん見なくなりました。

夏は、子どもたちが田んぼの生きものに触れ合う授業のために、水路に魚取りのかごを仕掛けますが、魚はめつきり取れなくなりました。

ゴロオシといって除草のため田に入り歩き回る初秋は、トンボの羽化に出合うとき。以前は、アキアカネやシオカラトンボ、イトトンボが朝露に羽をぬらし稲葉にとまっていたのですが、会いません。

さびしいよ。いずれも除草剤、殺虫剤、化学肥料が関係しているのでしょうか。

そのことに気が付かない百姓は、悲し過ぎます。

(栃木県上三川町上野長二)

編集後記

AFCフォーラム Forum 2022.1

編集

前田 美幸 今村 潤 高雄 和彦
山本 晶子 大谷 香織 城間 綾子
竹中 夕美

編集協力

青木 宏高 村田 泰夫

発行

株式会社日本政策金融公庫
農林水産事業本部
〒100-0004
東京都千代田区大手町1-9-4
大手町フィナンシャルシティ ノースタワー
Tel. 03(3270)2268
Fax. 03(3270)2350
E-mail anjoho@jfc.go.jp
ホームページ <https://www.jfc.go.jp/>

印刷 株式会社佐伯コミュニケーションズ

販売

株式会社日本食糧新聞社
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル
Tel. 03(3537)1311
Fax. 03(3537)1071
ホームページ
<http://info.nissyoku.co.jp/koudoku/>
お問い合わせフォーム
http://info.nissyoku.co.jp/modules/form_mail/

◆定価 523円(税込)

④先月号からの地球環境シリーズ、今月号は有機農業です。IPCCの統計によると世界の農林業由来の温室効果ガス排出量は、人為起源の全排出量の2割以上。環境に負荷をかけず、地球温暖化防止につながる有機農業を「持続可能」なものにするためには、コストを許容する消費者の理解が欠かせません。試されているのは私たちだと気が引き締まります。(今村)

④今月号でオンライン取材をした無茶々園さん。どうしても食べてみたくなり、「わけあり温州みかん」をネット注文しました。届いたみかんたちは見た目こそふぞろいですが、食べると甘みが詰まっています。食べようなおいしさ。「みかん」も「有機農業」もひとくりにせず、生産者のみなさんの想いや育て方の違いを味わいたいですね。(大谷)

④昨夏から、生ごみたい肥づくりに挑戦中です。台所から出た生ごみにボカシを混ぜ、発酵させます。それ土の中に埋めると微生物の働きできれいな土になるんです。この劇的な変化を見るのが楽しい。花壇の土にしたら、この冬はバンジーやピオーラがみごとな花をつけてくれました。今年、畑を借りて有機家庭菜園を始めたい。(城間)

④店頭でお米を選ぶときにパッケージを見るのが楽しみです。「銀河のしずく」「淡雪ごまち」「だて正夢」など、趣向を凝らした名前や斬新なデザインのは袋は、お米の個性に花を添えるよう。炊きたてはかほかのご飯あつての日本の食卓。それを支える「耳よりな話」の石川さんら研究者の尽力に感謝を捧げつつ、ご飯ライフを楽しみます。(竹中)

国産にこだわり
農と食を
つなぎます。

第15回

アグリフードEXPO東京

— プロ農業者たちの国産農産物・展示商談会 —

2022年

日時

2月2日(水) 3日(木)

10:00~17:00

10:00~16:00

会場

東京ビッグサイト 東展示棟

同時開催

オンライン商談会

2021年12月1日(水)~2022年2月28日(月)



後援：農林水産省/財務省/中小企業庁/全国知事会/全国市長会/全国町村会
協力：(独)日本貿易振興機構/国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構/(公社)日本農業法人協会/(一社)日本養豚協会/(一社)日本養鶏協会
全国農業経営者協会/全国農業協同組合連合会/全国農業協同組合中央会/(一社)日本フードサービス協会/(一社)日本スーパーマーケット協会
日本チェーンストア協会/(一社)全国スーパーマーケット協会/日本ハム・ソーセージ工業協同組合/オール日本スーパーマーケット協会/農林中央金庫
(株)みずほ銀行/(株)三井住友銀行/(株)三菱UFJ銀行/野村アグリプランニング&アドバイザー(株)/アグリビジネス投資育成(株)
(一社)全国消費者団体連絡会/日本生活協同組合連合会/NPO法人日本プロ農業総合支援機構/(株)日本農業新聞/沖縄振興開発金融公庫

主催：日本政策金融公庫

